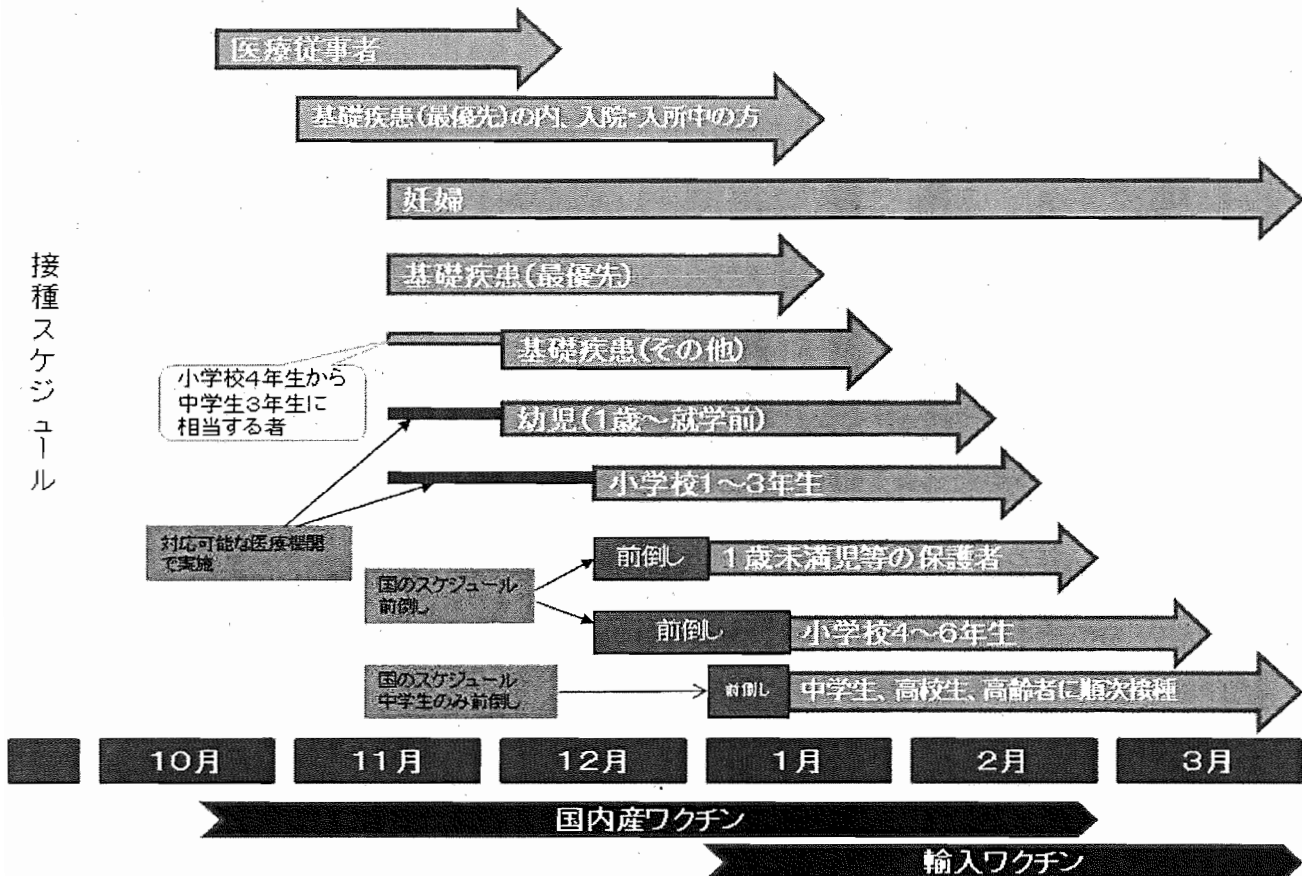


新型インフルエンザ対策について

1 新型インフルエンザワクチンの接種について

(1) 接種スケジュール



(2) ワクチンの確保状況

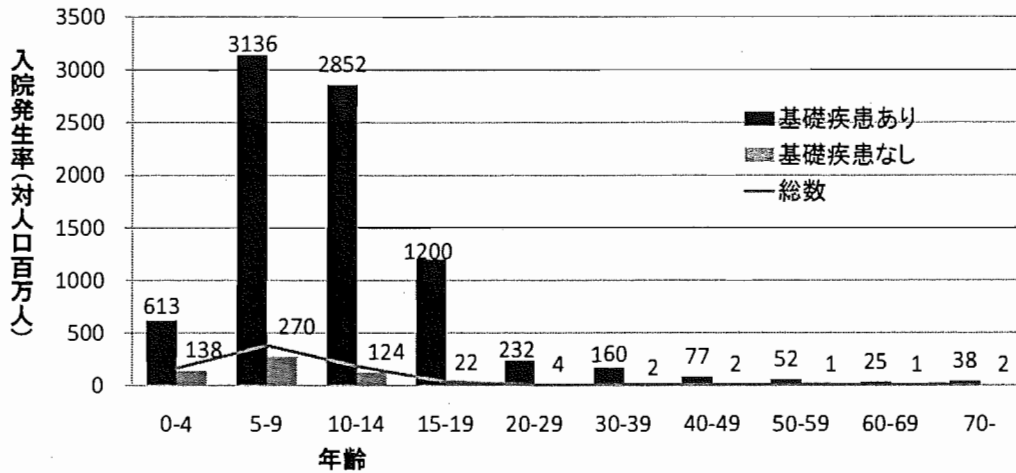
- ・医療機関へ10月中に配分済 48,000回分
(医療従事者+基礎疾患を有する者の一部用)
- ・医療機関からの要望 150,000回分
(妊婦、基礎疾患を有する者用)
- ・今回配分〔11月16日接種開始〕 約60,000回分
- ・今後の配分予定〔11月中〕 約70,000回分
- ・"〔12月中〕 約240,000回分

(3) 今回の対応

現時点で、優先接種対象者に対して、ワクチンの絶対量は不足しているが、医療機関において、10mlバイアル(18人分入りの製剤)が使い切れずに剰余が生じる場合や、当日の体調による突然のキャンセルが生じた場合などにより剰余が生じることも想定されることから、そのワクチンを有効活用して、健康な幼児や小学校低学年の児童についても、可能な範囲で前倒しして接種していただけるよう、お願いすることとした。

年齢階級別・基礎疾患の有無別の入院発生率(推計)

年齢階級別入院患者数(人)／年齢階級別対象人口(推計)(人)

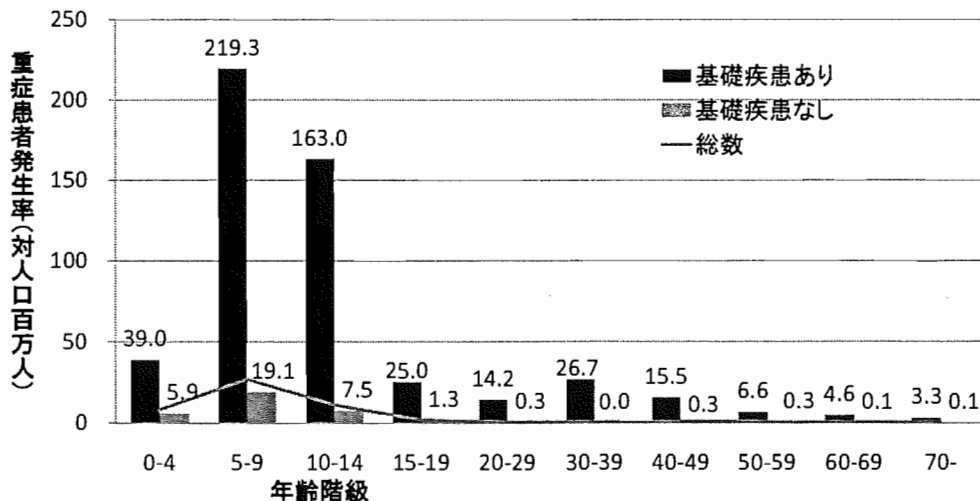


※年齢階級別入院患者数は、7月28日時点で入院中の患者または7月29日以降11月3日までに入院した患者の累計数
 資料:「推計人口(平成21年5月1日現在)年齢(5歳階級)男女別,総務省統計局
 「平成17年患者調査」,厚生労働省大臣官房統計情報部
 「入院サーベイランス」厚生労働省 新型インフルエンザ対策推進本部

厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局作成

年齢階級別・基礎疾患の有無別の重症患者発生率(推計)

年齢階級別重症患者数／年齢階級別対象人口(推計)
 重症患者の定義:脳症または人工呼吸器使用



※年齢階級別重症患者数は、7月28日時点で重症の患者または7月29日以降11月3日までに重症と確認された患者の累計数
 資料:「推計人口(平成21年5月1日現在)年齢(5歳階級)男女別,総務省統計局
 「平成17年患者調査」,厚生労働省大臣官房統計情報部
 「入院サーベイランス」厚生労働省 新型インフルエンザ対策推進本部

厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局作成

2 岡山県新型インフルエンザ対策行動計画の改定について

(1) 改定の趣旨

21年2月に国が、科学的知見の蓄積や20年4月の感染症法の改正を踏まえ、「新型インフルエンザ対策行動計画（17年12月策定）」を抜本的に改定したことを受け、本県の行動計画（17年12月策定）を抜本的に見直した。

(2) 対策の基本方針

新型インフルエンザ対策を社会全体の危機管理対策として位置づけた。

〔旧計画の目的〕

新型インフルエンザの感染拡大を最小限にとどめる。

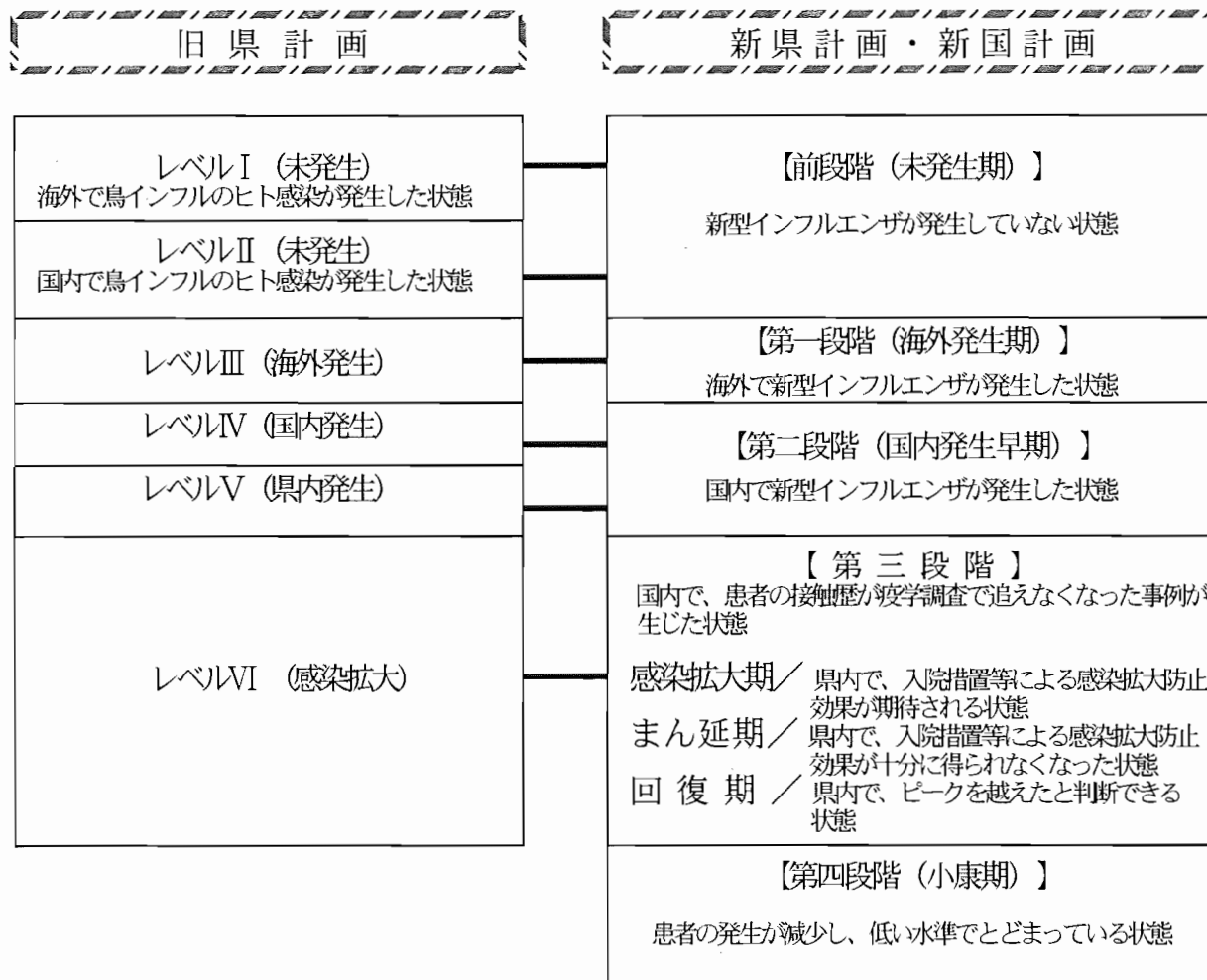
〔新計画の目的〕

I 感染拡大を可能な限り抑制し、健康被害を最小限にとどめる。

II 最低限の県民生活が維持できるよう必要な社会・経済機能を保持する。

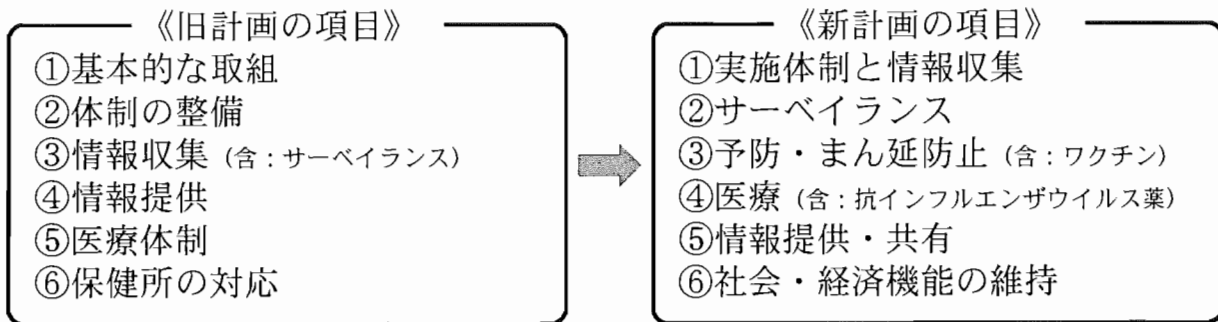
(3) 段階の設定

発生・流行の段階を国の行動計画と整合させた。



(4) 具体的な対策

具体的な対応策の項目を、計画目標に沿った対策が進められるものとした。



(5) 計画の実施等

この行動計画は、強毒型を想定しているが、本計画の実施に当たっては、実際に発生する新型インフルエンザの病原性や感染力等から予想される被害の大きさに応じて対策を緩和するなど、柔軟に行うこととした。